



---

## Open Core Protocol International Partnership による Releases OCP SystemC Channel バージョン 2.1.3 のリリース

ポートランド ( オレゴン州 ) — 2006 年 10 月 18 日 — OCP-IP ( Open Core Protocol International Partnership ) は本日、SystemC TLM ( Transaction Level Monitor ) Channel バージョン 2.1.3 のリリースを発表しました。最新バージョンの新機能により、モデルの相互運用性が向上し、システムレベルのモデリングにおける生産性を高めることができます。

OCP-IP はまた、台湾の經濟部工業局による Taiwan SoC Consortium の ESL Working Group の組織へのリグレーションスイートの寄付も発表しました。リグレーションスイートでは、OCP-IP がチャンネルをリリースする前に高レベルのコードテストを行うことができます。

バージョン 2.1.3 には、OCP 構成管理への修正を含むいくつかの拡張機能が組み込まれ、仕上げの最後にコアがチャンネルを構成できます。この機能により、エンジニアは OCP ポートを備えた SystemC モジュールをより簡単にインスタンス化でき、構成エラーのリスクを削減できます。TL1 と TL2 では、マスターとスレーブ間の互換性の自動チェックも行えます。

新しいバージョンは、エンジニアがシミュレーションを表示できる、時間の概念を含まない TL1 チャンネル用のモニターも備えています。また、SOC アーキテクチャがパフォーマンスの制限を受けている箇所やアーキテクチャのサイズが大きすぎる箇所も把握できます。OCP-TL1 モニターが使用できるということは、ユーザーコードを実装せずにこのような情報を抽出できることを意味します。TLM でのモニターインターフェースのスタイルは、ユーザーの必要に応じて別のモニターを簡単に開発して追加できるようになっています。

また、バージョンのドキュメントには、TL1 での同期化条件を完全に記述する拡張が含まれています。この追加は、OCP コアの互換性を保証します。開発者は、多数のサプライヤからコアを購入できます。各サプライヤは、開発者のインフラストラクチャと彼らの他の顧客のインフラストラクチャに完全に互換する SystemC モデルと RTL コードを提供します。

準拠モデルの開発は、CoWare 社、Sonics 社、TI 社および GreenSoCs の代表者を含む OCP-IP システムレベル設計作業部会 ( System Level Design Working Group ) により行われました。

OCP-IP システム レベル設計作業部会 (System Level Design Working Group) の部長である Mark Burton 氏は次のように述べています。「OCP-IP チャンネルがますます高度化された技術を開発し、使用している一方、OCP-IP ユーザーにとっては、ユーザーインターフェースの保守とチャンネルの意味が最も重要です。」 「この目標を達成する鍵は、ITRI キットです。」

OCP-IP の Ian Mackintosh

会長は次のように述べています。「システムレベル設計作業部会は、トランザクション レベルモデル業界における主要企業のエキスパートで構成されています。我々は何年もの間、何万にも及ぶ製品を出荷しており、品質には絶対の自信があると自負しております。また TLM 開発のたゆまぬ努力を続けゆく所存であります。」

詳細については、OCP-IP の Web サイト ( [www.ocpip.org](http://www.ocpip.org) ) を参照してください。

### OCP-IPについて

OCP International Partnership Association, Inc. (OCP-IP) は2001年、相互接続が可能な仮想コンポーネントの迅速な作成と統合を保証する完全なソケット規格として、Open Core Protocol (OCP) を推進、サポートする目的で発足しました。OCP-IPの Governing Steering Committee にはNokia社[NYSE: NOK]、Texas Instruments社[NYSE: TXN]、STMicroelectronics社[NYSE: STM]、東芝セミコンダクターグループ (TAEC東芝アメリカ電子部品社を含む)、Sonics社が参加しています。OCP-IPは非営利団体で、完全に支援されたオープンライセンス方式のコア中心プロトコルを初めて提供しました。OCPはIPコアの再利用を容易にし、SoC設計期間やリスク、製造コストを軽減します。VSIAはOCPソケットを支持していて、OCP-IPはVSI Alliance に加入しています。詳しい背景やメンバーシップ情報については、[www.OCPIP.org](http://www.OCPIP.org) をご覧ください。

すべての商標およびサービスマークはそれぞれ各社の所有物です。

*OCP-IP Association, Inc.  
5440 SW Westgate Drive, Suite 217, Portland, Oregon 97221 USA  
Tel: 1-503-291-2560 Fax: 1-503-297-1090  
E-mail: [admin@ocpip.org](mailto:admin@ocpip.org)  
[www.ocpip.org](http://www.ocpip.org)*